



いちのせき 藤の園

児童養護施設一関藤の園
 〒021-0061
 一関市山目字館 2-5
 Tel 0191-23-1544
 Fax 0191-23-1545
ichi.fujinosono@mirror.ocn.or.jp
 編集：渡部／千葉(美)

善意の結晶・新園舎の竣工

～新園舎に込める想い～
 仙台教区長 マルチノ平賀徹夫司教

一関藤の園の新しい園舎が完成し、その落成式の日を迎えました。おめでとございます。心からお祝いを申し上げます。

(中略)
 さて、あの東日本大震災で、前の藤の園の園舎がひどい被害を受けたので、み



祝福式を執り行う佐藤神父様(右)平賀司教様(中央)、野口神父様(左)

なさん、とても不便な暮らしをしなければならなくなっていましたね。でも、日本中からはもちろんのこと、ドイツをはじめとして世界中から、本当に沢山の、善意の方々の助けによって、去年の8月に新しい藤の園の建築が始まりました。そして今日、めでたく、新しい園舎の落成式の日を迎えることとなりました。おめでとございます。本当にうれしいことです。援助して下さいます。あなたの方々に、どうもありがとうございました。お礼の心をいつも持っていたいものです。そしてイエス様にもお礼を申し上げることを忘れないようにしましょう。

なぜって、藤の園は、

イエス様がいつもわたしたちと一緒にいてくださり、わたしたちを支え、導き、わたしたちに良いことをいつも望んでくださっている方だ、と信じている所だからです。

いま読まれた聖書では、イエス様が、シモンとアンデレという兄弟の家に行かれた時、シモンのしゅうとめさんが熱を出して寝ていたので、イエス様は、そばに行き、手を取って起こし、治してあげた、ということを書きました。

イエス様は、辛い思いをして苦しんでいる人を見ると、放っておけない方です。復活のイエス様を、いまわたしたちは肉眼で見ることができません。でもイエス様は「わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共に居る(マタイ28

・20)」と、約束してくださいました。私は思い出す。熱を出して苦しんでいるシモンのしゅうとめさんを放っておかず治してあげたイエス様は、東日本大震災で大変な被害を受けた藤の園とそこに住んでいる子どもたちや子どもたちのために働いている方たちの苦しみ・辛さを放っておかず、日本と世界中の善意の人々の心を揺り動かして、助けの手を差し伸べさせたのだ、と。

このように、イエス様をまだ信じていない人でも、信じている人であればなおさら、その善意を表して生きることによって、人間を大切になさるイエス様のお心を実現する道具としてイエス様に使っていただけるのだと思います。

さあ、この新しい藤の園の園舎は、日本中、世界中からの善意の結晶です。別の言い方をすれば、「神様の慈しみの表れ」である建物です。これからこの建物で暮らす人、ここに居る人は一人ひとりと、皆、善意にあふれてお互いを大切に、イエス様の愛の心を表しな思っています。

「見よ、兄弟がともに座がら生きることで、藤の園に寄せられた沢山のついでいる。

なんといい恵み、なん神からの恵み、イエス様からの祝福が、いつもみなさんの上にありますように。

2013. 6. 29
 (落成祝福式から)



ぼくたちの新しいおうちをつくってくれてありがとう！

平成25年度事業計画

7月上旬には新園舎での生活が始まります。新園舎での生活がスムーズに移行できるよう各ユニットの子どもの編成を十分に検討するとともに職員体制についても再構築を図ります。

ユニットでは家庭に近い環境となることから基本的な生活習慣の習得や個別ニーズへの対応など一人ひとりの子どもの成長に応じたきめ細かな支援を行います。

施設機能として、ショートステイ等の子育て支援事業の体制整備、ボランティアや実習生、施設見学者の積極的な受入れ、さらには第三者評価の受審や情報の公開、要望・苦情解決事業、新会計基準への移行の準備にも力を入れていきます。

子どもたちの健全な成長のためには子どもたちと関わる大人（職員）の存在が大きく影響することから職員の人材育成・資質向上を図ります。OJTを基本としながら施設内研修の充実を図るとともに外部研修にも職員を積極的に派遣します。

平成24年度事業報告

平成24年度は、新園舎について施設の意向を十分に反映したものにするために多くの時間を費やし一日も早く竣工するように努めました。また新園舎では6名～8名のユニット制になることを念頭に置き、ユニット制を実施している施設の見学や実習を通してユニット制の養育について理解を深めることができました。

改築関係以外では、第2次中長期事業計画の策定や子どもたちの安心・安全をさらに高めるための非常食の備蓄や緊急事態に備えての体制整備に取り組みました。

養育関係では、仮設園舎での生活が2年目に入ったことから子どもたちがストレスを溜め込まないように、子どもたちの意見や要望を聞きながらホーム毎の行事を工夫したりトラウマ解放のエクササイズワークショップを開催するなど子どもたちが安心して生活できるように配慮しました。

そのような状況の中で、東京ディズニーランドやプロ野球の招待など地域の皆様をはじめ多くの皆様に様々な形でご支援頂いた1年でもありました。

平成24年度決算報告

貸借対照表（平成25年3月31日現在）

単位：円

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	38,151,192	36,830,179	1,321,013	流動負債	3,645,301	4,520,534	△875,233
固定資産	1,135,655,113	678,653,457	457,001,656	固定負債			
基本財産	45,185,822	108,754,043	△63,568,221	負債の部合計	3,645,301	4,520,534	△875,233
他の固定資産	1,090,469,291	569,899,414	520,569,877	基本金	106,955,443	106,955,443	
				国庫補助積立金		18,769,410	△18,769,410
				その他積立金	522,315,510	520,710,000	1,605,510
				次期繰越活動収支差額	540,890,051	64,528,249	476,361,802
				純資産の部合計	1,170,161,004	710,963,102	459,197,902
資産の部合計	1,173,806,305	715,483,636	458,322,669	負債及び純資産の部合計	1,173,806,305	715,483,636	458,322,669

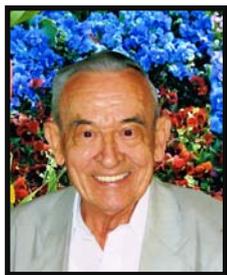
事業活動収支計算書（平成24年4月1日～平成25年3月31日現在）

(単位：円)

勘 定 科 目	本年度決算	前年度決算	増 減
事業活動収入計 (1)	208,121,311	281,983,757	△73,862,446
人件費支出	106,516,620	112,894,047	△6,377,427
事務費支出	31,253,886	73,212,719	△41,958,833
事業費支出	34,915,382	46,881,174	△11,965,792
減価償却費	5,321,853	10,330,915	△5,009,062
事業活動支出計 (2)	178,007,741	243,318,855	△65,311,114
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	30,113,570	38,664,902	△8,551,332
事業活動外収入計 (4)	143,470	100,682	42,788
事業活動外支出計 (5)	2,650,000	2,250,000	400,000
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	△2,506,530	△2,149,318	△357,212
経常収支差額7=(3)+(6)	27,607,040	36,515,584	△8,908,544
特別収入計 (8)	511,782,913	404,872,144	106,910,769
特別支出計 (9)	61,422,641	10,399	61,412,242
特別収支差額 (10)=(8)-(9)	450,360,272	404,861,745	45,498,527
当期活動収支差額 (11)=(7)+(10)	477,967,312	441,377,329	36,589,983
次期繰越活動収支差額	540,890,051	64,528,249	476,361,802

詳しい事業報告・決算報告は施設内に備えてあります。自由に閲覧することができます。

訃 報



一関藤の園の創立者のエゴロッフ神父様が昨年の12月6日に、初代園長のシスター・マリア・ラインガルディスが、新しい藤の園を見届けるかのように、7月15日に帰天されました。両氏とも藤の園の創立に深く関わり、貧しいながらも愛に満ちた施設にしようと、昼夜を問わず献身的に子どもたちのために尽くされ「無償の愛」を実践された方々でした。

永遠の眠りについて両氏に想いを馳せ謹んでご冥福をお祈りいたします。



「子どもたちを わたしのところに来させなさい。妨げてはならない。」(マルコ10:14)

新園舎の落成を記念して、カトリック一関教会様とカトリック千厩教会様からステンドグラスが寄贈されました。制作には94歳になられたカーペンティール神父様を中心となり何度も何度もやり直し、苦心の末に完成されたとお聞きました。

このステンドグラスは、イエス様をシスターや子どもたちが囲んでいます。そして「子どもたちを わたしのところに来させなさい。妨げてはならない。」と聖書のことばが添えられています。まさに藤の園を表現したものであり、新園舎を象徴するものです。

生まれた年代も生まれた場所も育った環境も違う人たちが、「藤の園」が存在することによって出逢い、同じ時間を共有しています。これは偶然というよりも奇蹟に近いのではないかと思います。

めざせ 世界チャンピオン!

8月13日、元プロボクサーの坂本博之さんをはじめスタッフのみなさんが来園し、ボクシングセッションがありました。昼食をみんなで食べた後、グローブをはめてスパーリングを行いました。子どもたちも職員も日頃のストレスを発散させるかのように、はじめからエンジン全開。ミットめがけて何度も強烈なパンチをきめていました。その後は、「諦めなければその先に笑顔がある」をテーマに熱く子どもたちに話をし、頂きました。



卒園生との野球大会

恒例となっている卒園生チームVS在園生・職員連合チームの野球の試合が8月13日、一関市運動公園でありました。この試合のために名古屋や東京から駆けつけた卒園生、家族を連れてくる卒園生など1年に1度の野球をとっても楽しみにしています。在園生や職員にとっても卒園生と交流できる機会となりますが、試合の方は、けっこうガチンコになり盛り上がります。

今年は園舎が改築したことから30人を超す卒園生が来園し職員と再会を喜び合いました。



まぐろがやってきたよ!

8月20日、大きなまぐろが藤の園にやってきました。このまぐろは、一関市にある神文ストア様とその協力企業の皆様が子どもたちに本物のまぐろを見てもらい、食べさせたいという想いからです。初めて見る大きなまぐろは迫力があり、子どもたちは釘づけになってまぐろを見ていました。その後はおいしいお寿司やスープをたくさん頂き、みんな満足した表情で大変喜んでいました。

いつも、子どもたちに心を寄せて頂き、本当にありがとうございます。



ふれあいソフトボール大会

8月24日、花巻市石鳥谷町で岩手県内の福祉施設の子どもたちが集まり、ふれあいソフトボール大会が開催されました。藤の園からも小学生の部と中高生の部に出場しました。チームはベストメンバーとはいきませんでした。小学生の部では3位、中高生の部では”逆転サヨナラ”など、どの試合も僅差の試合となりましたが、8度目の優勝を飾ることができました。

子どもたち一人ひとりが成長したな〜と実感したふれあいソフトボール大会でした。



新しくなる子どもたちのくらし

●大舎制からユニット制へ ～より家庭に近い環境へ～

子どもたちにとっては、藤の園が生活の中心でありここから幼稚園や学校に通います。住環境は子どもたちの健全な成長発達のためにはとても大切なことです。各ユニットは幼児から高校生まで6人～8人の編成となり3人の職員が交代で子どもたちの養育にあたります。

私たちは、建物全体がきれいに整美され、装飾や生花などにも心を配り、できるだけ家庭に近い環境の中で、子どもたちが居心地良く感じられるようにしたいと考えています。その中で職員との信頼関係を築きながら安定した生活が送れるように配慮していきます。



キッチンとダイニング

●孤独を楽しむ ～子どもたちの自立に向けて～

子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全で安心できる場所があることは自我の確立のためには大切なことです。特に思春期の多感な時期は一人になって自分と会話することが大切であり、そのためにも独りになれる空間が必要になってきます。以前は大舎制により自分の居場所はありませんでした。新園舎では中高生が個室となり独りの空間を確保できるようになりました。独りになって孤独を楽しみ、将来の自立につなげて欲しいと思っています。



ユニット (小学生の居室)



新しい園舎での生活 ～こどもの感想



荷物が多かったので、引越はスゴい一日中かかって大変でした。けど、初めての一人部屋で自分好みにするのが楽しくて、汗をかきながらもくもくとやってみました。(笑) ベットふかふかで、一日目からもうグッスリ寝ちゃいました。ユニットのメンバーは、女子部のメンバーがほとんどなので、気が知れていて、とても居心地がいくて幸せです！！。幼児さんと一緒に生活するのは、最初は泣いたりして大変なのかなと不安でしたが、実際はホトンド泣かないし、なにより可愛くて自分の子供のように思うようになりました。(♡♡)私の一番好きな時間は、19:00～22:00の皆で並んでテレビを見る時間です。20:00まで幼児さんと遊びながら見て、後は中高生どうして寝ころびながら、語ったりして見るのがスゴい毎日の楽しみです。ユニットだから近くて、けんかとかあっちゃうかも。だけど、皆良い子ばかりなので、いつもSmileがあふれてるようにしたいです。節電も頑張ってます。(高3・女子)



ユニット (個室)



新園舎落成祝福式・祝賀会

～2013.6.29～



支援者のみなさんと記念写真



テープカットでお祝い



バルーンリリース



多くの方々にご出席頂いた祝賀会



浦川ご夫妻によるステキな演



感謝の気持ちを込めて・・・